

# 俣郷

確かな学力・豊かな心・健やかなからだをもち、  
未来をたくましく生き抜く生徒の育成

## 「充実の秋」にしましょう

今年も雨が多く、季節の移り変わりも早いような気がします。クールビズの期間もやがて終わります。

先日、日高先生の転勤についてお知らせいたしました。新しく有村 拓郎先生が着任いたしました。都城の出身で、理科と技術を中心に、一部B組の授業も受け持ちます。よろしく願います。運動会が終わり、学校は文化祭に向けて準備が始まっています。授業中や昼休みに合唱の音が響き渡っています。

この時期になりますと、よく「秋」という言葉を聞くようになります。例えば、「スポーツの秋」や「凋落の秋」など。

不思議と同じような気候なのに、春はそういう言い回しは意外に少ないようです。私なりの考えで言うと、秋は来るべき冬を前にして、生物として一種の緊張感が湧いてくるのではないのでしょうか。「やがて冬になるぞ、今やるべきことをしっかりやっておけ！」と体内時計が騒いでいるのかもしれない。

皆さん一人一人にとっての、「秋」は何でしょうか。「く」にはどんな言葉が入るのでしょうか？

「食欲」「ゲーム」「睡眠」ばかりでなく、「勉強」「文化」「読書」などが入るとすばらしいですね。

いずれにしても、何をするのに適しているこの時期を「**充実の秋**」にしたものですね。

## 《体育大会終わる～歴史を重ねる小中合同運動会》

前日までにグラウンド整備や準備が万端に整っていましたが、当時はあいにくの雨。プログラムを削ったり、順番を入れ替えたりしながら、合間合間にグラウンド整備を続けながらの開催でした。

しかし、児童生徒の皆さんは、競技や演技、応援や係の仕事に一生懸命取り組み、すばらしい運動会にしてくれました。決してよい条件ではなかったものの、一人一人が自分たちの運動会をよりよいものにしようという意気込みが随所に見られました。

外連味のないその姿は、「**一生懸命**」と「**感動**」という言葉が同じ意味であることを、あらためて感じさせてくれました。

児童生徒数が減少する中で、合同運動会をどのように行うのかも、考える時期が近づいていると感じます。単に2校の行事というだけではなく、地区の行事のひとつとして、いつまでも続けていかななくてはならないと思います。



まさに手作り運動会



いよいよ決戦の時



完全燃焼！ばんざい！！

## 《有村 拓郎先生～一緒にがんばりましょう！》

9月24日から、有村 拓郎先生が本校に見えられました。出身は都城市。音楽鑑賞が趣味で、特技は料理だそうです。好きな言葉は「とりあえず 楽しむ」。君たちへのメッセージは、「大人になったとき楽しい思い出ができる中学校生活を送って下さい。そのために何かを経験する機会があれば、どんどん挑戦して下さい。」です。よろしく願います。

